



平成30(2018)年度 第6号

り ん ぼ か ん

**隣保館だより**

発行責任者 豊後大野市隣保館  
〒879-6441  
豊後大野市大野町田中 74 番地 1  
TEL 0974-34-3603

## こんにちは、隣保館です

朝のニュース番組で、9月にもかかわらず全国的にインフルエンザが流行していると報じていました。大分県でも学級閉鎖になった学校があるそうです。流行するのが例年よりも早く、長期間になることが予想されます。

これから行楽シーズンになりますので、出かけることが多くなります。

外から帰ってきたら手洗い、うがいをするなどの予防を心がけましょう。

また、インフルエンザにかかった時は、医師の指示にしたがって、ゆっくりと休養をとり、感染を広げないようにしましょう。

## 隣保館は開設から35年です

豊後大野市隣保館は1983(昭和58)年10月1日に大野町に開設しました。

当時の資料を見たところ、解放同盟との交渉中に町長による差別発言があり、町政が混乱していました。町内の店舗内や家畜市場などでも、差別事件が起っています。そのため住民意識調査を行ない、数年間かけて町の職員による「訪宅研修」(町内の各戸を訪問し、その家の家族全員と部落差別問題について話し合う取り組み)を行なっています。その後も、職員に対する研修や住民に対する講座、地域別での座談会など、継続的な取り組みが実施されました。

時は流れ、人々の人権意識は変わってきましたが、いまだに部落差別はなくなっていない。身元調査のために戸籍を不正請求する事件など、明るみになったものもあります。

また、インターネット上では、差別扇動や被差別地域の所在地の暴露、差別投書事件など、現実社会では考えられないようなことが堂々で行われています。そしてこれらのサイトや書き込みは拡散され、インターネット上に残り続けています。

このような背景の中、2016(平成28)年12月16日に「部落差別の解消の推進に関する法律」が公布・施行されました。この法律は、部落差別のない社会を実現することを目的としています。

「部落差別は過去のもの」、「私は差別をしないので関係ない」といった意見をよく聞きます。部落差別に対して無関心な方が多くいるのが現状です。

隣保館はこれからも、フィールドワークを通じての部落差別問題の学習と、出前隣保館事業、ふれあい教室、訪問事業などを通し、部落差別問題の解決に向けて取り組んでいきます。

## 児童館お楽しみ会

8月24日に児童館でお楽しみ会が開催されました。隣保館職員もお手伝いをしました。

お楽しみ会では、射的、ヨーヨー釣りで遊びました。食べ物のコーナーでは綿菓子、かき氷、カレーライス、流しそうめんをいただきました。流しそうめんでは、みんな上手にそうめんを取って食べていました。カレーライスは大好評で、おかわりをする子もいました。最後に浅草・犬山神楽保存会こども神楽による「五方礼始」が舞われました。保護者が参加してのお楽しみ会は久しぶりとのことで、大人も子どもも笑顔が絶えない時間でした。



## 人権啓発情報センターから

隣保館では、大分県立図書館の書籍（200冊）を、定期的に借入れています。10月5日に書籍の入替えを予定しています。

この図書は隣保館所有の図書と同様に貸出しています。ぜひご利用ください。

利用時間：開館日の9時から17時（休日開館日を除く）

## DVDの貸出しについて

隣保館では、部落差別問題を題材としたDVDの貸出しをしています。学習会等を行う際に活用してください。貸出期間はおおむね1週間です。

また、学習会ではDVDを視聴するだけでなく、小グループでの意見交換等を行うと、より学習効果が得られます。

★一部ですが、DVDの紹介をします★

○「そんなの気にしない」（17分）：部落差別問題

○「光射す空へ」（34分）：部落差別問題、若年性痴ほう症、LGBT

※アニメーション作品です

○「あなたに伝えたいこと」（36分）：部落差別問題、インターネット上の差別



## 10月の行事予定



2日（火）料理教室（9時30分～）

17日（水）出前隣保館（南）

10日（水）出前隣保館（辻）

実用書道教室（19時～）

絵手紙教室（19時～）

24日（水）まちなかサロン

26日（金）手編み教室（19時～）